

第18回 いわて希望ファンド

第15回 いわて農商工連携ファンド

公募中です 11/25(月)まで

希望ファンド
小規模事業者枠は
11/18(月)まで

いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

県内中小企業等の革新的・個性的な取り組みにより、地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新、中心市街地活性化に向けた取り組みなどについて、助成金交付による総合的な支援を行います。

起業・新事業活動支援事業

創業・起業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取り組みを支援

●市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	●創業者 ●中小企業者	●特定非営利活動法人(NPO法人) ●農事組合法人等	①一般枠 起業または新事業に取り組む事業者	②地域資源活用枠 地域資源を活用する事業	③経営革新枠 経営革新計画の承認を受けた事業	④小規模事業者枠 従業員5名以下の事業所で起業または新事業に取り組む事業者
	助成限度額	300万円	300万円	500万円	150万円	
助成率	1/2	2/3	3/4	3/4		
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))					

中心市街地活性化支援事業

中心市街地や商店街活性化に向けての革新的な以下の取り組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新役務の開発又は企業化、販売促進・販売力強化、業種構成再編・遊休資産活用～

対象者	●中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者 ●小売・サービス業を営む県内に住所のある中小企業者等 ●商工会、商工会議所、商店街振興組合、事業協同組合 ●知事が適当と認める特定非営利活動法人(NPO法人)
助成率	9/10 (店舗賃借料については、[店舗賃借料/月×月数(助成対象期間×1/3)]の算式によって算出された額の9/10)
助成限度額	250万円
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))

支援機関による 支援事業

中小企業者が実施する起業・経営革新等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

第17回いわて希望ファンド地域活性化支援事業採択一覧

第17回いわて希望ファンド地域活性化支援事業について、平成25年9月19日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
経営革新計画	株式会社アイカス・ラボ	盛岡市	マイクロアクチュエーターを応用した完成品の開発と事業化
	株式会社環境保全サービス	奥州市	ブラウン管パネルガラス、薄型液晶パネル、プラズマパネル、太陽電池パネル等のリサイクル事業の展開
地域資源活用	有限会社木村商店	山田町	岩手前浜産の「海の資源」と遠野産の低アミロース米「ゆきおとめ」を活用した「高付加価値」の「贈答品」の開発・販売事業
	有限会社中村家	釜石市	「海の幸・里の幸」のコラボ商品開発による釜石ブランド発信
	木楽創研株式会社(継続3年目)	大船渡市	被災地の農業・林業再生に貢献する気仙地域発の「木質資源活用ハウス」の開発と販路拡大
	株式会社八木澤商店(継続2年目)	陸前高田市	味噌や醤油、醤油の旨味を使った加工品やスイーツ類の開発
小規模事業者	有限会社金弁商店	釜石市	前浜資源を活用した新商品開発・改良(イカの丸干し、サンマの塩麹漬)及び自社商品(さんまみりん干し、秋鮭加工品)の販路拡大
	野村海産株式会社	大船渡市	三陸産鮎を活用した新商品開発と販売(日本で一番美味しいと誇れる三陸産鮎を活用して「焼き鮎」と「鮎肝ソース」を商品化する事業)
	マルワ食品	大船渡市	電子レンジ調理する魚商品の開発と販売(三陸の海産物を加工し、レンジで温めるだけで本格的な魚料理が食べられる商品を開発、販売する事業)
	螺鈿澤井工房	盛岡市	螺鈿技法と蒔絵技法を融合した新商品開発・販売(螺鈿技法と蒔絵技法を融合して、アクセサリ・ボックス等を開発する事業)
	有限会社こまち	盛岡市	岩手牛革と浄法寺漆染め等の県内染色技術を活用した革小物の開発及び販売
中心市街地活性化支援事業	フォレストいわて北上	北上市	森林・里山の利活用による間伐材からの薪生産・販売(間伐材を活用した着火用小割薪の商品開発と販路開拓)
	二戸市商工会 盛岡商工会議所(継続2年目)	二戸市 盛岡市	戦国の英雄「九戸政実」歴史まちなか活性化プロジェクト 「もりゼミ」の定着化(事業拡大)とゼミ受講者の固定客化に向けたアプローチ

いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携(農商工連携)を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等への支援を行います。

起業・新事業活動支援事業

中小企業者と農林漁業者が連携をして行う下記の事業を支援

- ①新商品等開発支援事業(新商品・新技術・新役務の開発事業)
 - ②販路開拓等支援事業(販路開拓事業)
- ～市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等～

対象者	●県内の中小企業者と農林漁業者の連携体 ⇒農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行うもの及びこれらの組織する団体(農協、森林組合、漁協、連合会も可) ●中小企業者以外で、県内のNPO等と農林漁業者の連携体
助成率	4/5
助成限度額	600万円 (農商工等連携事業計画の認定を受けている場合は助成限度額1,000万円)
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))

支援機関による支援事業

農商工連携による起業・新事業活動等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

●農商工連携の基本的要件

1 有機的連携

中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること
 ◆「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します。
 ◆「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的、かつ有効に用いられていることを指します。

2 新商品の開発等

事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産または需要の開拓が実現すること
 ◆「新商品若しくは新役務(サービス)」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことがない新たな商品または役務であることが必要です。

●農商工連携の事例～お菓子の開発～

中小企業者(菓子メーカー)
もち米である古代米、低アミロース米の米粉を使用し試作品の製造、サイズ・パッケージ共に平泉に結びつけるデザインの製作。展示会における市場調査、販路拡大活動を行う

農林漁業者(農業者)
古代米を米粉に加工(品種の選定と製粉条件)、低アミロース米、うるち米といった食感の異なる原材料も検討。事業化された事により古代米に新たな活用・販路が生まれた

連携
それぞれが工夫を凝らした取り組み!

新商品開発!
平泉の「世界文化遺産」登録を目前に商品開発を構想。「平泉」と「古代米」という共通した歴史イメージをもつ素材を組み合わせ考案され事業化に至った。商品名・パッケージデザイン等も同様のイメージから開発された。

第14回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業採択一覧

第14回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業について、平成25年9月18日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
起業・新事業	北日本水産(株) (連携者:熊谷豊治)	大船渡市 (大船渡市)	「漁業者と企業が一体化した計画生産」と「加工・販売機能の整備」による事業連携
	(有)総合農舎山形村 (連携者:有限会社 久慈ファーム)	久慈市 (二戸市)	「岩手県北地域のブランド肉「佐助豚」と「山形村短角牛」のコラボレーションによる新商品開発及び販路開拓」
	(株)遠野アサヒ農園 (連携者:社会福祉法人 カナンの園)	遠野市 (一戸町)	「パドロン」と「フルーツミニトマト」の加工品の開発と周年ビジネスの構築
	(株)千秋堂 (連携者:有限会社ファーム菅久)	盛岡市 (雫石町)	「雫石町産米粉を主要原料とし、雫石町産の乾燥及びパウダー化した食材を組み合わせたオール雫石町産「米粉スイーツシリーズ」の研究開発」
(株)浅沼醤油店 (連携者:三浦青果)	盛岡市 (岩手町)	岩手町の野菜をぎゅ〜っと閉じ込めた「北緯40度の野菜ソース」(仮名)の商品開発(継続2年目)	

●手続きの流れ



お問い合わせ
お申し込みは **産業支援グループ**

(いわて希望ファンド担当/福島 いわて農商工連携ファンド担当/伊藤利光)
TEL019-631-3824 FAX019-631-3830 メール joho@joho-iwate.or.jp